



ENEOS

ENEOSによる ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社 の株式取得に関するお知らせ

2021年10月11日

ENEOSホールディングス株式会社
ENEOS株式会社

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式取得の概要

- 本日（10月11日）付で株式譲渡契約を締結、株式取得の実行は2022年1月下旬頃を予定しています
- 株式取得価額は約2,000億円です
- 株式取得の相手先 ジーエス・リニューアブル・ホールディングス合同会社（以下、「現株主」）
※ 現株主には、ゴールドマン・サックスの出資会社およびGICの出資会社が75%、25%ずつ合同会社持分を出資
- 取得対象 現株主が所有するジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（以下「JRE」）の100%の株式

< J R E の概要 >

名 称	ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
本社所在地	東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー10階
設立年	2012年
資本金	219億4,742万5,500円
代表者	竹内 一弘(代表取締役社長)
上場/非上場	非上場
主要事業	発電プラント(風力発電、太陽光発電、バイオマス発電その他自然エネルギー発電)に関する事前調査、計画、設計、関連資材調達及び販売、土木工事、電気工事、建設、運転、保守点検事業並びに売電事業
従業員数	194名 (単体、2021年7月時点)

JRE株式取得の意義 ①脱炭素・循環型社会への貢献

- 当社は、第2次中期経営計画の最終年度となる2022年度末までに、国内外における再生可能エネルギー事業の総発電容量を100万kW超に拡大することを目標とし、その後もさらなる容量の積み上げを目指します
- 本株式取得により、国内外の運転中・建設中の再生可能エネルギーの総発電容量は、約122万kW※（2021年9月時点）となります。今後、ENEOSがこれまで培ってきたエネルギー事業者としての知見と、JREの事業開発能力を結集して、日本を代表する再生可能エネルギー事業者を目指します

第2次中計期間の目標達成

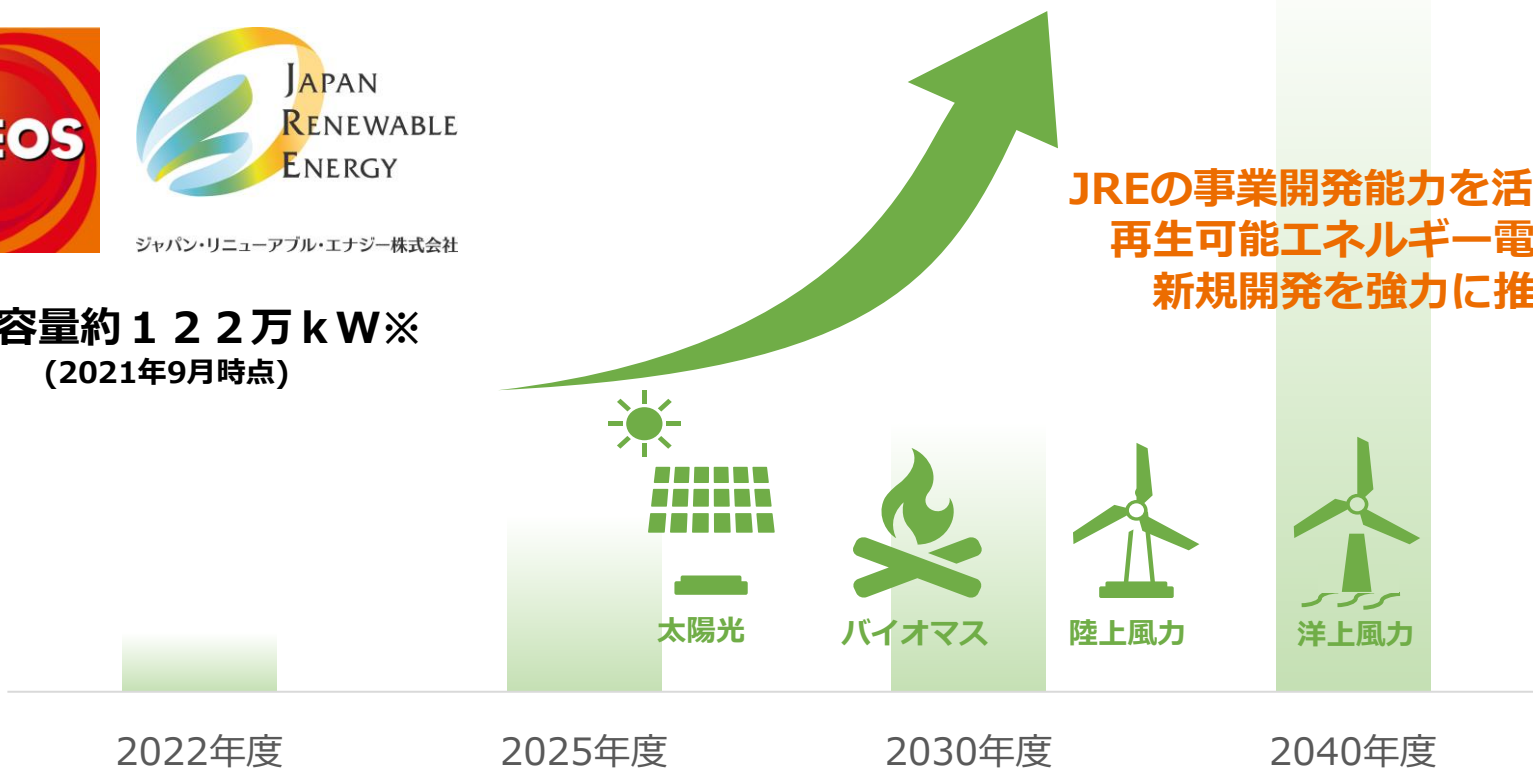
脱炭素・循環型社会への貢献



ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

発電容量約122万kW※
(2021年9月時点)

JREの事業開発能力を活用し、
再生可能エネルギー電源の
新規開発を強力に推進



JRE株式取得の意義 ②再生可能エネルギーを起点とした次世代型エネルギー供給事業の展開

- 大規模な再生可能エネルギー電源の獲得により、販売メニューの多様化、オフサイトPPA(自己託送システムを活用した電力販売契約) などの新たな小売りメニューの開発が可能になります
- 将来的には、発電量が変動する再生可能エネルギー電源を、蓄電池や電動車両(EV)を用いて最適に制御するエネルギーマネジメントシステム(EMS)と組み合わせることにより、お客様にCO₂フリー電気を安定的かつ効率的に供給できる体制を構築します。また、CO₂フリー電気はCO₂フリー水素の製造において重要な役割を果たすことから、現在、ENEOSグループが進めている将来のCO₂フリー水素サプライチェーン構築への貢献が期待できます

